

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 28. 3. 30 第 190 回国会第 9 号

3 月 30 日（水）、第 9 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 西村 智奈美君（民進）（理事山尾志桜里君去る 28 日委員辞任につきその補欠）

2 厚生労働関係の基本施策に関する件（子ども・子育て等）

- ・塩崎厚生労働大臣、竹内厚生労働副大臣、とかしき厚生労働副大臣、三ッ林厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

赤 枝 恒 雄君（自民）

- ・医師の偏在を解消するため、新専門医制度の研修方法の工夫や医師の勤務状況等の把握が必要と考えるが、厚生労働省の検討状況を伺いたい。
- ・介護療養病床の廃止は特別養護老人ホーム等の個室ユニットの推進を促す機会になると考えるが、個室ユニットの推進に関する厚生労働省の見解を伺いたい。

大 串 正 樹君（自民）

- ・特定健診の実施率の低い理由を保険者横断的に分析して、実施率の向上につなげていく必要があるのではないか。
- ・健診・検診を受診させるインセンティブを与える取組にはどのようなものがあるのか、厚生労働省の見解を伺いたい。

古 屋 範 子君（公明）

- ・同一労働同一賃金を実現していくためには、法改正やガイドラインの作成が必要と思うが、今後の取組について伺いたい。
- ・待機児童の解消に向けた取組を進めて、子どもが健やかに成長できる環境を整備することが必要と考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・児童虐待の防止に向けた厚生労働大臣の決意を伺いたい。

山 尾 志桜里君（民進）

- ・6 万人という潜在的な待機児童数が今後も継続して公表されるよう、厚生労働大臣はリーダーシップを発揮すべきではないか。

- ・厚生労働省が 3 月 28 日に発表した待機児童解消に向けた緊急対策においては、新たに予算措置を行った施策はあるか。
- ・保育士給与の引上げを求める約 2.8 万人分の署名を直接受け取っていただきたいが、厚生労働大臣の所感を伺いたい。

郡 和 子君（民進）

- ・国家戦略特区における外国人家事支援サービスのために来日した外国人の雇用契約や労働条件については、労働関係法令の適用を受けることから厚生労働省が監督を行うのか確認したい。
- ・外国人家事支援サービスの外国人が利用できる第三者機関の相談窓口を設置し、その周知を図るべきではないか。
- ・介護保険のサービス縮小につながる外国人家事支援事業を推進するのではなく、既存の社会保障制度の充実を図るべきと考えるが、厚生労働大臣の所見を伺いたい。

柚 木 道 義君（民進）

- ・保育士の処遇を抜本的に改善するため、給与を大幅に引き上げるための対策を講ずるべきではないか。
- ・保育の受け皿を拡大するため小規模保育において定員を弾力化することは、保育の質の低下を招きかねないのではないか。
- ・現在、厚生労働省のホームページで保育に関する意見を募集しているが、利便性向上のため、スマートフォンでも意見が送れるように改善すべきではないか。

初鹿明博君（民進）

- ・家庭的保育の充実等の対策を講じ、子育て中の保育士が安心して働ける環境を整備すべきではないか。
- ・保育士資格に相当するものとして、家庭的保育を行うチャイルド minder の活用を推進すべきではないか。
- ・夜間に働き認可外保育施設に子どもを預けざるを得ない者がいることから、子どもを預けるという行為に対して公的支援を行う仕組みに改めるべきではないか。

中島克仁君（民進）

- ・平成27年度における介護報酬のマイナス改定が介護事業所の経営に及ぼす影響を、通例の介護事業経営概況調査によらず早急に調査すべきではないか。
- ・今回の緊急対策における児童の受入れ拡大策を自治体が拒んだ場合はどのように対応するのか。
- ・国からの要請で受入れ児童の数を増やした結果事故が発生した場合、どこが責任を取るのか。

井坂信彦君（民進）

- ・補正予算を編成してでも緊急に保育士の処遇改善策を講ずるべきではないか。
- ・国が定める職員配置基準では保育の現場は回らないのではないか。

- ・特に都市部において、公定価格が不十分であるため上乗せして補助を行わなければ保育所の整備が進まないのではないか。

高橋千鶴子君（共産）

- ・厚生労働省が3月28日に公表した待機児童数及び潜在的待機児童数の合計は、全ての待機児童を網羅しているか。
- ・子ども・子育て支援新制度においては量の拡大と質の改善を図ることとしたにもかかわらず、今回の緊急対策による受入れ枠の拡大では質の改善はできないのではないか。
- ・保育士を目指す人の希望に応えるためにも、保育士の待遇を抜本的に改善すべきではないか。

浦野靖人君（おおさか）

- ・今回の緊急対策における大幅な定員外の受入れに対する公定価格の減額措置の適用延期が突然廃止されて現場が混乱するようなことはないか。
- ・公立保育所に勤務する保育士の給与をはじめとする保育所の経営実態を、国は詳細に調査して把握すべきではないか。
- ・保育のための小学校の空き教室の活用を推進するため、文部科学大臣と協議すべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

3 社会福祉法等の一部を改正する法律案（第189回国会閣法第67号）（参議院送付）

- ・提案理由の説明を省略することに協議決定しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
(賛成—自民、民進、公明、おおさか 反対—共産)